

添付資料目次

資料 1	名桜大学大学院及び琉球大学大学院 配置図	2
資料 2	名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査結果（令和 4 年 12 月実施） ※在学生対象	3
資料 3	名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査結果（令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月実施） ※一般の方対象	9
資料 4	名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）設置に係るアンケート調査について（設置構想中）（依頼）※人間健康学部スポーツ健康学科 1 年次, 2 年次, 3 年次, 4 年次学生用	17
資料 5	名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科（仮称）修士課程設置調査に関するアンケートについて（依頼） ※一般の方対象	26

資料2

「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査結果（令和4年12月実施） ※在学生対象

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、名桜大学（以下、本学）において、スポーツ健康科学研究科修士課程の開設にあたり、本学のスポーツ健康学科の高等教育機関での学士課程修了者の需要を調査することで、本学修士課程開設の必要性を確認し、実証することを目的として実施したものである。

2. 調査の時期

令和4年12月19日（月）から 12月23日（金）

3. 調査対象

人間健康学部スポーツ健康学科在学生

4. 調査方法

インターネット調査（Google フォームを活用し、専用の QR コードより読み込み回答）

5. 回収状況
有効回答数 105 名であった。

6. 設問に対する回答内容

問1 あなたの学年についてお伺いします。1つだけマークしてください。

105 件の回答

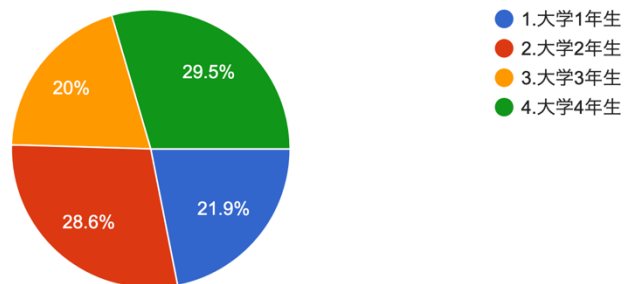


図1：学年別の割合

表1：学年別

1.大学1年生	2.大学2年生	3.大学3年生	4.大学4年生	総計
23	30	21	31	105
21.9%	28.6%	20.0%	29.5%	100%

問2 あなたは、大学院修士課程に進学したいと思いますか。1つだけマークしてください。
105件の回答

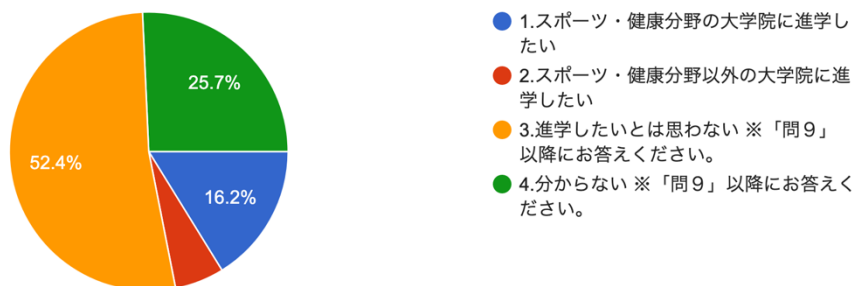


図2：進学希望の割合

表2：進学希望

1. スポーツ・健康分野の大学院に進学したい	2. スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい	3. 進学したいとは思わない ※「問9」以降にお答えください。	4. 分からない ※「問9」以降にお答えください。	総計
17	6	55	27	105
16.2%	5.7%	52.4%	25.8%	100.00%

※ 問2で「1.スポーツ・健康分野の大学院に進学したい」「2.スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい」を選んだ23名を対象とする。

問3 あなたが、大学院で学びたい理由は何ですか。（複数回答可）

※ 「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

23件の回答

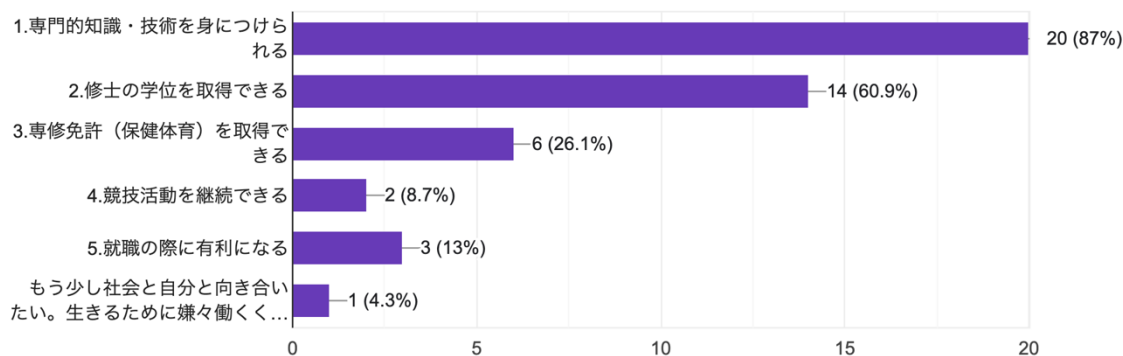


図3：大学院で学びたい理由の割合

表3：大学院で学びたい理由

1. 専門的知識・技術を身につけられる	2. 修士の学位を取得できる	3. 専修免許（保健体育）を取得できる	4. 競技活動を継続できる	5. 就職の際に有利になる	その他
20	14	6	2	3	1
87%	61%	26%	9%	13%	4%

「その他」の記述

- もう少し社会と自分と向き合いたい。生きるために嫌々働くくらいならもう少し勉強をして幸福度を高められる道に進みたい。

問4 あなたは 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）が開設されれば、入学したいと思いますか。

23件の回答

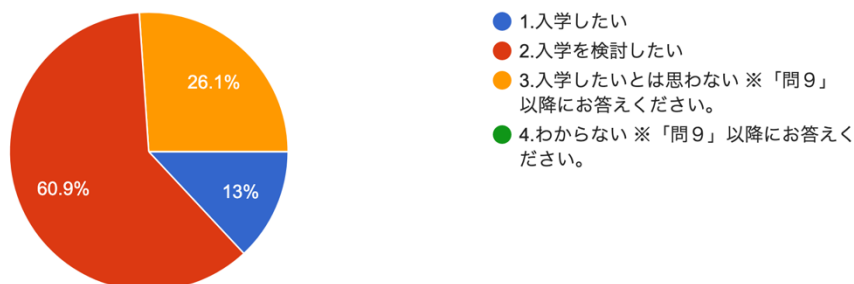


図4：入学意向の割合

表4：入学意向

	1.入学したい	2.入学を検討したい	3.入学したいとは思わない ※「問9」以降にお答えください。	総計	割合
1.大学1年生	1	4	2	7	30.4%
2.大学2年生		7	1	8	34.8%
3.大学3年生	1	2	1	4	17.4%
4.大学4年生	1	1	2	4	17.4%
総計	3	14	6	23	100.0%
割合	13.0%	60.9%	26.1%	100.0%	-

※ 以下より、問4で「1.入学したい」「2.入学を検討したい」を選んだ17名を対象とする。

問5 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）に「1.入学したい」、もしくは「2.入学を検討したい」と回答した理由は何ですか。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

あてはまるものをすべて選択してください。

17件の回答

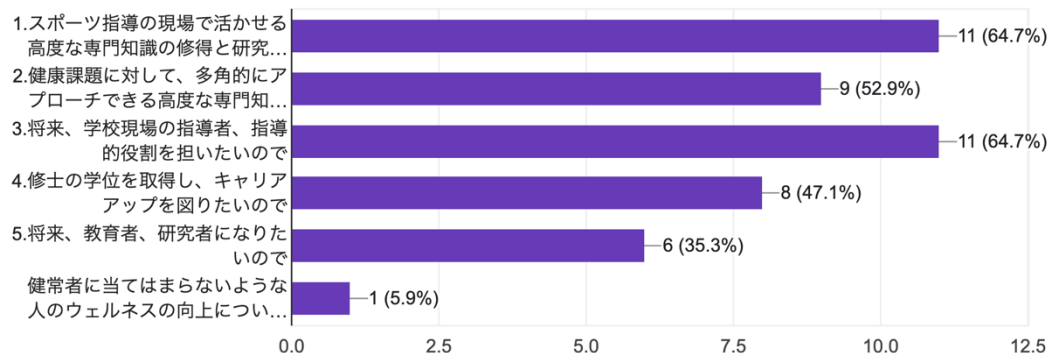


図5：入学を検討した理由の割合

表5：入学を検討した理由

1. スポーツ指導の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	2. 健康課題に対して、多角的にアプローチできる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	3. 将来、学校現場の指導者、指導的役割を担いたいので	4. 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので	5. 将来、教育者、研究者になりたいので	その他
11	9	11	8	6	1
64.7%	52.9%	64.7%	47.1%	35.3%	5%

問6 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）の、どの分野に関心がありますか。

17件の回答

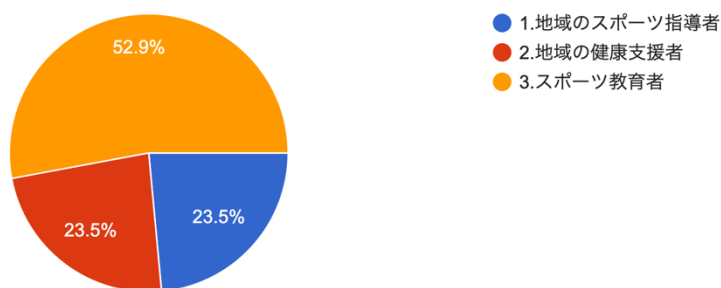


図6：関心がある分野の割合

表6：関心がある分野

	1. 地域のスポーツ指導者	2. 地域の健康支援者	3. スポーツ教育者	総計	割合
1. 大学1年生	2	1	2	5	29.4%
2. 大学2年生	1	1	5	7	41.2%
3. 大学3年生		2	1	3	17.6%
4. 大学4年生	1		1	2	11.8%
総計	4	4	9	17	100.0%
割合	23.5%	23.5%	52.9%	100.0%	

問7 進学先を選ぶ際に重視する点（重視した点）を教えてください。

17件の回答

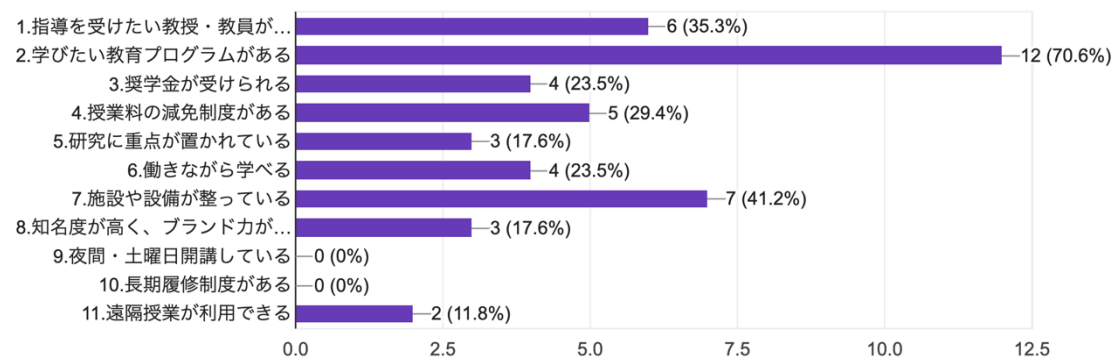


図7：進学先を選ぶ際に重視する点の割合

表7：進学先を選ぶ際に重視する点

1.指導を受けたい教授・教員がいる	2.学びたい教育プログラムがある	3.奨学金が受けられる	4.授業料の減免制度がある	5.研究に重点が置かれている	6.働きながら学べる	7.施設や設備が整っている	8.知名度が高く、ブランド力がある	9.夜間・土曜日開講している	10.長期履修制度がある	11.遠隔授業が利用できる	総計
6	12	4	5	3	4	7	3	0	0	2	17
35.3%	70.6%	23.5%	29.4%	17.6%	23.5%	41.2%	17.6%	0.0%	0.0%	11.8%	100%

問8 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

17件の回答

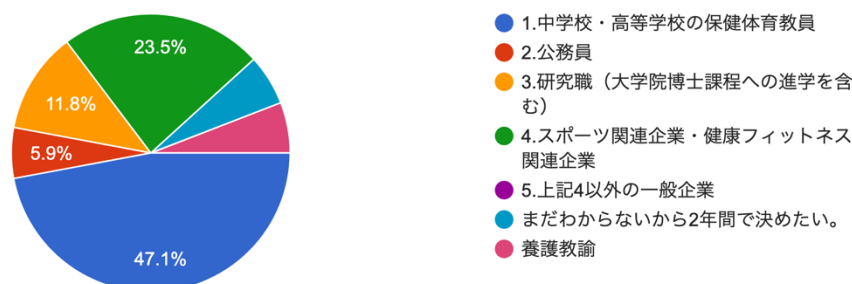


図8：修了後の進路の割合

表8：修了後の進路

	1. 中学校・高等学校の保健体育教員	2. 公務員	3. 研究職（大学院博士課程への進学を含む）	4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業	5. 上記4以外の一般企業	その他		総計	割合
						まだわからないから2年間で決めたい。	その他（養護教諭）		
1. 大学1年生	1		1	2	0		1	5	29.4%
2. 大学2年生	5			2	0			7	41.2%
3. 大学3年生	1		1		0	1		3	17.6%
4. 大学4年生	1	1			0			2	11.8%
総計	8	1	2	4	0	1	1	17	100.0%
割合	47.1%	5.9%	11.8%	23.5%	0%	5.9%	5.9%	100.0%	

問9 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

- ・大学の発展にもつながり、学生からの需要もあると思うため、修士課程の開設に賛成します。
- ・とてもいい取り組みだと思う。
- ・私は大学院に進学するつもりは無いが、スポーツ健康学科の大学院ができるのは嬉しい。
- ・入試対策を教えていただけたら幸いです。
- ・金額的にも妥当で良いと思う。
- ・大学では学べないことを学べるのであればいい案だと思います。
- ・スポーツ系の大学院を開設するなら、大学の設備をもっと充実させるべきだと思う。

- ・養護教諭の専修免許を取得できるようにしてほしい
- ・名桜大学にとって大きな1歩になると思います。
- ・設置した方が良い。
- ・現大学3年生がギリギリ進学できるものなのか。
- ・大学院があるのを知らなかった

資料 3

「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査結果（令和4年12月～令和5年1月実施） ※一般の方対象

I.調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、名桜大学（以下、本学）において、スポーツ健康科学研究科修士課程の開設にあたり、本学のスポーツ健康学科の高等教育機関での学士課程修了者の需要を調査することで、本学修士課程開設の必要性を確認し、実証することを目的として実施したものである。

2. 調査の時期

令和4年12月22日（木）から 1月20日（金）

3. 調査対象

- (1) 中学校・高等学校保健体育教員（臨時的採用教員を含む）
- (2) 保健体育教員以外
- (3) 教育関係従事者（教員以外）
- (4) 保健医療関係従事者
- (5) スポーツインストラクター・トレーナー
- (6) 福祉・介護等従事者
- (7) 団体職員（協会、連盟、協議会）
- (8) 沖縄県、各市町村教育委員会職員
- (9) その他

4. 調査方法

インターネット調査（Google フォームを活用し、専用の QR コードより読み込み回答）

5. 回収状況

有効回答数 316 名であった。

6. 設問に対する回答内容

問1 あなたの現在の職種を教えてください。

316 件の回答

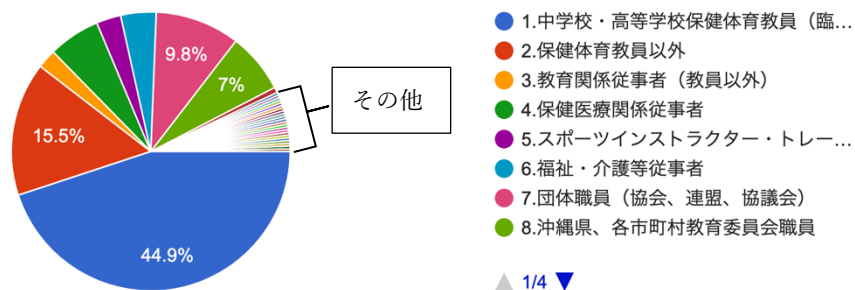


図1：職種別の割合

表 1：職種別

1. 中学校・高等学校保健体育教員（臨時的採用教員を含む）	2. 保健体育教員以外	3. 教育関係従事者（教員以外）	4. 保健医療関係従事者	5. スポーツインストラクター・トレーナー	6. 福祉・介護等従事者	7. 団体職員（協会、連盟、協議会）	8. 沖縄県、各市町村教育委員会職員	その他	総計
142	49	7	19	9	13	31	22	24	316
44.9%	15.5%	2.2%	5.0%	2.8%	4.1%	9.8%	6.9%	7.5%	100%

問2 あなたは、大学院修士課程に進学したいと思いますか。

316 件の回答

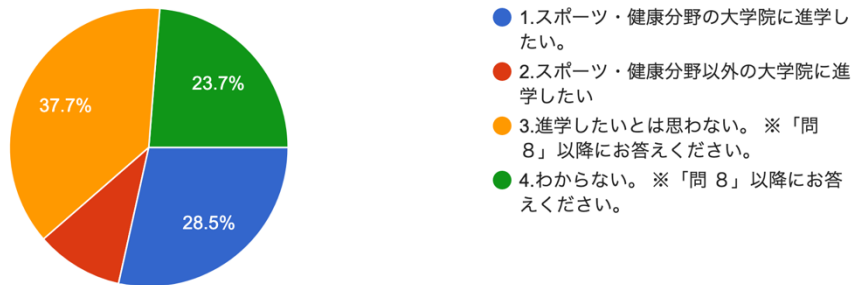


図 2：進学希望の割合

表 2：進学希望

1. スポーツ・健康分野の大学院に進学したい。	2. スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい	3. 進学したいとは思わない。 ※「問 8」以降にお答えください。	4. わからない。 ※「問 8」以降にお答えください。	総計
90	32	119	75	316
28.5%	10.1%	37.7%	23.7%	100.0%

※ 問2で「1.スポーツ・健康分野の大学院に進学したい」「2.スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい」を選んだ122名を対象とする。

問3 あなたが、大学院で学びたい理由は何ですか。（複数回答可）

122 件の回答

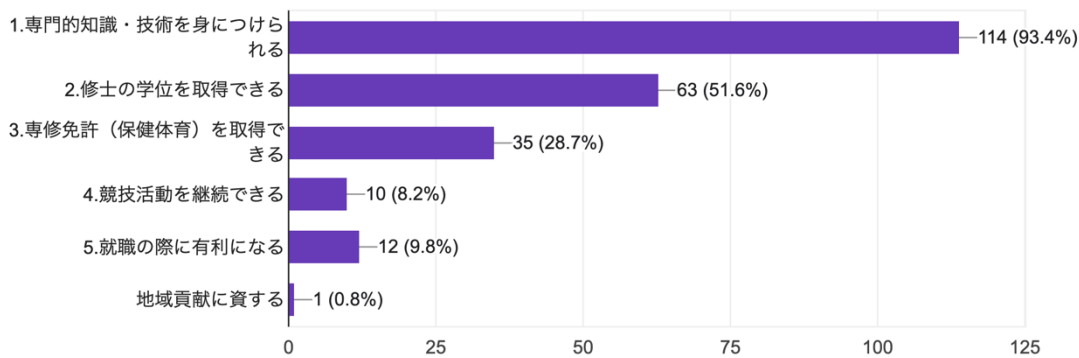


図 3：大学院で学びたい理由の割合

表 3：大学院で学びたい理由

1. 専門的知識・技術を身につけられる	2. 修士の学位を取得できる	3. 専修免許（保健体育）を取得できる	4. 競技活動を継続できる	5. 就職の際に有利になる	その他	総計
114	63	35	10	12	1	122
93.4%	51.6%	28.6%	8.1%	9.8%	0.8%	100%

「その他」の記述

- 地域貢献に資する。

問4 あなたは 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）が開設されれば、入学したいと思いますか。

122 件の回答

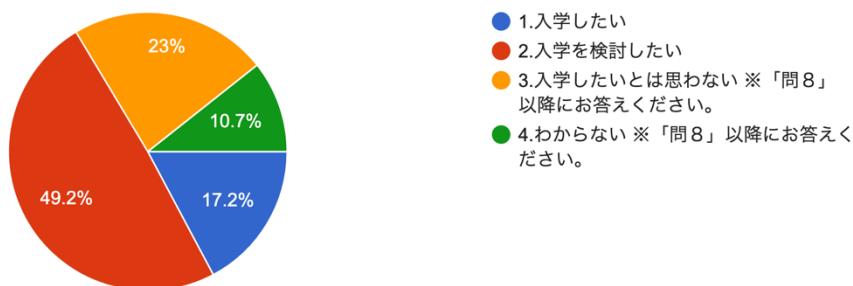


図4：入学意向の割合

表4：入学意向

	1. 入学したい	2. 入学を検討したい	3. 入学したいとは思わない ※「問8」以降にお答えください。	4. わからない ※「問8」以降にお答えください。	総計	割合
1. 中学校・高等学校保健体育教員（臨時的採用教員を含む）	11	34	10	9	64	52.5%
2. 保健体育教員以外	3	5	8		16	13.1%
3. 教育関係従事者（教員以外）	1	2			3	2.5%
4. 保健医療関係従事者	1	1			2	1.6%
5. スポーツインストラクター・トレーナー		2			2	1.6%
6. 福祉・介護等従事者		3	3		6	4.9%
7. 団体職員（協会、連盟、協議会）		3	4	3	10	8.2%
8. 沖縄県、各市町村教育委員会職員	3	4	3		10	8.2%
その他	2	6		1	9	7.4%
総計	21	60	28	13	122	100%
割合	17.2%	49.2%	23.0%	10.7%	100%	

※ 以下より、問4で「1. 入学したい」「2. 入学を検討したい」を選んだ81名を対象とする。

問5 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）に「1. 入学したい」、もしくは「2. 入学を検討したい」と回答した理由は何ですか。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

あてはまるものをすべて選択してください。

81件の回答

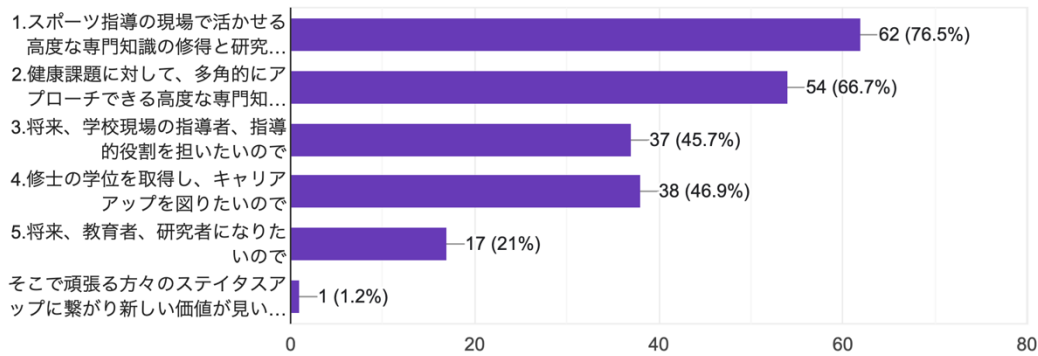


図5：入学を検討した理由の割合

表5：入学を検討した理由

1. スポーツ指導の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	2. 健康課題に対して、多角的にアプローチできる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので	3. 将来、学校現場の指導者、指導的役割を担いたいため	4. 修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいため	5. 将来、教育者、研究者になりたいため	その他	総計
62	54	37	38	17	1	81
76.5%	66.6%	45.6%	46.9%	20.9%	1%	100%

その他：そこで頑張る方々のステイタスアップに繋がり新しい価値が見いだせると思います

問6 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）の、どの分野に関心がありますか。

81件の回答

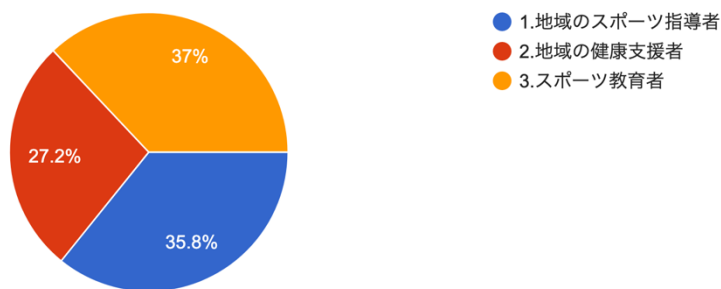


図6：関心がある分野の割合

表6：関心がある分野

	1.地域のスポーツ指導者	2.地域の健康支援者	3.スポーツ教育者	総計	割合
1.中学校・高等学校保健体育教員（臨時的採用教員を含む）	14	10	21	45	55.6%
2.保健体育教員以外	4	2	2	8	9.9%
3.教育関係従事者（教員以外）	1	1	1	3	3.7%
4.保健医療関係従事者		1	1	2	2.5%
5.スポーツインストラクター・トレーナー	1		1	2	2.5%

6.福祉・介護等従事者	2	1		3	3.7%
7.団体職員（協会、連盟、協議会）	1	2		3	3.7%
8.沖縄県、各市町村教育委員会職員	2	2	3	7	8.6%
その他	4	3	1	8	9.9%
総計	29	22	30	81	100.0%
割合	35.8%	27.1%	37.0%	100%	

問7 進学先を選ぶ際に重視する点（重視した点）を教えてください。

81件の回答

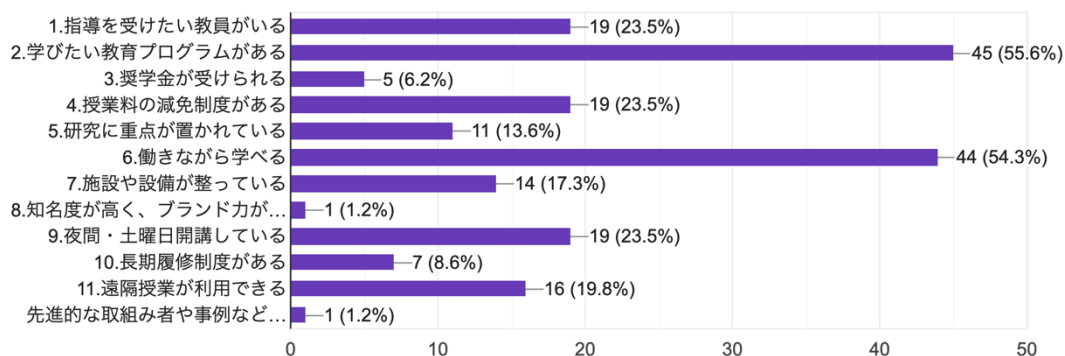


図7：進学先を選ぶ際に重視する点の割合

表7：進学先を選ぶ際に重視する点

1.指導を受けたい教員がいる	2.学びたい教育プログラムがある	3.奨学金が受けられる	4.授業料の減免制度がある	5.研究に重点が置かれている	6.働きながら学べる	7.施設や設備が整っている	8.知名度が高く、ブランド力がある	9.夜間・土曜日開講している	10.長期履修制度がある	11.遠隔授業が利用できる	その他	総計
19	45	5	19	11	44	14	1	19	7	16	1	81
23.4%	55.5%	6.17%	23.4%	13.5%	54.3%	17.2%	1.2%	23.4%	8.6%	19.7%	1.2%	100%

その他：先進的な取組み者や事例など、授業などを共有できればいいですね

問8 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

- 今回、このアンケートを答えるにあたって、ホームページを拝見させていただきました。地域と連携し、若い方の力で高齢者福祉に携わっていることに、とても良い取り組みだと感じました。福祉教育というのが今後の少子高齢化対策としても大切になってくると思います。大学院が開設された際には、地域福祉に関する研究等を積極的に行っていただき、各市町村との連携と福祉に関わる人材育成を深めていただきたいと思います。
- 専門的に学ぶ事は大切ですが、大学院としてその後の進路を大学側からあると、志願者が集まるかと思いません。
- 今後機会があれば情報収集します
- 良い修士課程だと思うが、自分の今の現状として仕事でいっぱいになっている。
- 北部の大学で修士課程が開設されるのは地域の活性化に繋がると思います。

- 興味があります。ぜひ設置して下さい
- 若者達が行きたいと思うような、魅力ある大学院にしてください。
- 専門知識修得の場になって欲しい。
- 沖縄県内出身者を県外でさまざまな経験を通して育成させるようなカリキュラムはないか？県内のみの狭い思考が身につかないかと心配。
- 専門性を高める為に必要だと思います。
- ぜひ開講して今後の発展に繋げてほしい。
- 沖縄県におけるトップアスリートの育成及びスポーツ障害に関する研究。
- 新設に向けて頑張ってください。
- 世の中の将来に繋がる教育をお願いします。
- 本県における体育・スポーツを担う人材を育成できる機関があることは、そこを目指している者に対して非常に良いことだと思います。
- より専門的な知識が修得できるようにしてほしい
- どのような内容か、詳しく知りたい
- 設置する事で沖縄県全体のスポーツや健康に関する意識に変化生まれると思う。
- 専門的にスポーツや健康の分野を追求し、沖縄県を今後スポーツを専門とした魅力のあるけんにしてほしい。
- ぜひ設立してもらいたいです。大変だとは思いますが、宜しくお願いします。
- 少し興味はあるので考えてみます。
- 地域に根ざした大学であってほしい。
- 大学院の設置について、今後の優秀な人材育成におおいに期待したいと思います。
- 教諭の採用が厳しいなか、教諭以外の安定した職業選択ができるカリキュラムができれば興味持ちます。
- 教員を続けながら入学したいです
- 地域の人材を育成してほしい。
- 県内でもスポーツ、健康についてのプロを育てる機関が増えることについて賛成です。是非、充実した施設、カリキュラムで人財を育ててほしいです。
- スポーツトレーナー等のスポーツを指導する際に役に立つ資格も取れたらよいと思います。
- 沖縄県内に後期・博士課程設置まで頑張してほしい。(修士修了です)
- 今後、博士課程の設置も視野に入れて進めて欲しいです。
- 学べる機会が増えることは良いと思います。
- より高度かつ専門的な研究が行える場所が、やんばる地域から生まれることは素晴らしいことだと思います。
- 沖縄県の課題改善に結びつくような研究内容や人材育成につながることを願います。
- 『進学を希望していない』を選択しましたが、私自身がスポーツや体育関係の大学・学科を卒業していないこと、教員免許も体育外を所有しているので、設置していても進学をしない。を選択させていただきました。
- 卒業後の進路の受け皿が県内、特に離島地域において確保できるかが課題ではないでしょうか。
- 希望者は少なからずいると思います。設置する事で県内の学生の選択肢が増えるので、前向きに検討していただきたいです。
- 北部で体育系の大学院を設置するのは大変意義があると思う。
- 医療系ならニーズはありそうですが、スポーツ系にどの程度のニーズがあるのかが不明であるため、修了時の活躍状況に具体的な指針を示した方がイメージしやすいですね。

- いいと思います。
- 沖縄の学生にとって深い学びの場として、より専門的にスポーツや健康分野について探究できるのでとても良いと思う。
- 体育専門やスポーツに興味関心が高い方には、とても魅力があるものだと思います。
- スポーツの研究者が増えるとスポーツ育成に力が入るのでいいと思う
- 修士課程卒業と4年制卒業の違いが見えれば、興味を持つ学生が多くなると思います。
- 社会的ニーズがあれば開設すべきであると思う。
- 本大学院への受験・入学を検討しておりますので、ぜひ開設していただきますようよろしくお願いいたします。
- 非常に良いと思います。応援致します。
- 可能であれば学びたいと思います。
- これから学ぶ学生には、とても良いと思う。
- 少子高齢化社会に向けて、より専門性の高い幅広い人材の育成が必要だと考えます。「修士課程」が出来るといいと思います。
- ハンバーガーを食べたらどうなるのか
- 地域のスポーツチームは、沖縄を盛り上げてくれると思われる。琉球ゴールデンキングスはその例として。そのチームのサポートスタッフとしても活躍の場が増えていると思われる。県内でそういった専門性が学べる大学院があるということは、すごく良いと思います。
- 地域のスポーツをどう盛り上げていくのかという視点（競技運営、財源面等）についての人材育成も行ってもらいたい。
- 教員免許を所持しているが現在教職に就いていないため。
- 是非、修士課程を開設
- 必要だと思います 頑張ってください
- 是非、設置して沖縄県全体のスポーツを盛り上げてほしいです。
- 修士課程について、とても素晴らしいことだと思います。新たなことを学びたいと思いますが、年齢や仕事関係上困難なので断念しています。若かったら入学したいと思います。
- 沖縄県にとって今後の新しいスポーツ環境の構築に携わる職員として大いに期待したい。
- 早い段階での設置を希望しております。
- 将来的な生活の安定につながるものにしてほしい
- 地域(地方)のスポーツ指導者を育成してほしい
- 予防医学の重要性が見直される中、特に沖縄県の健康寿命向上に向けた取り組みが急務であると考えます。スポーツ分野も同様で、より専門的に学びたいと思う人は多いと思います。ぜひ、設置してほしいです。
- スポーツに力を入れてきている名護において、専門性の高い分野を学べる場が開設されるのは良いことだと思います。
- そこから発信できる組織となってほしい、科学技術大学院大学と提携した沖縄発信に期待します
- 今後、博士後期課程の設置も期待しております。
- 特にありませんが、なぜこのアンケートが当方に依頼されたのか不明です。
- 現職を継続しながら学べる環境が増えることは生涯学習の観点からも素晴らしいことだと思います。ぜひご尽力いただきたいです。

- 車社会の沖縄で健康寿命を延ばすために出来ることを研究し実践できる人を育てて欲しい。野球やサッカー等稼げるメジャーなスポーツ選手の育成やサポートが出来る人材が必要だと思います。
- 当修士課程の設置は、地域のスポーツ振興、スポーツコンベンションに今後大きく寄与するものだと考えられるのでとてもいいことだと思います。

令和 4 年 12 月

人間健康学部スポーツ健康学科在学生 各位

名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科（仮称）修士課程設置検討委員会

名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）設置に係るアンケート調査について（設置構想中）（依頼）

名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科では、令和4年4月に「大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に向けた準備を進めております。

このアンケートは、皆様の進学意向をお伺いし、設置構想の基礎資料とするものです。

アンケートから得られた調査結果は、設置構想の基礎資料としてのみ活用し、他の目的に使用することはありません。

つきましては、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

記

1. 調査内容：「学生確保及び修了後の進路に関する調査」
2. 調査の回答期間：令和4年12月19日（月）から令和4年12月23日（金）
3. 問い合わせ先：人間健康学部スポーツ健康学科 高瀬 幸一
4. 回答方法：
 - 1) 回答は、設問により「どれか1つを選択」するもの、「複数回答可」するものがありますので、設問をよく読んで回答してください。
 - 2) 「名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査について（設置構想中）」の回答は、みなさんがお持ちの携帯電話、スマートフォン、iPhone 等によるインターネット上での回答とします。

○携帯電話、スマートフォン、iPhone 等によるインターネット上での回答

下記のQRコードを読み取り、アンケートサイトにアクセスし、回答してください。

[アンケートはこちらから](#)



<https://forms.gle/zZoHTwVWATJ3PYLK6>

「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査（設置構想中） ※在学生対象

本学では、「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」の設置を検討しています。

この大学院研究科は、沖縄をはじめとする地域社会のスポーツ・健康分野において活躍できる高度専門職業人の養成を目的としています。研究科の養成したい人材は以下の通りです。「スポーツ・健康分野に関する学修と研究を通して、高度な専門的知識並びに指導力を身に付ける。また、自ら発見した課題を適切な手法で分析し、結論を導き出す論理的思考力を身に付け、スポーツ・健康分野で活躍できる高度専門職業人を養成します。」

つきましては、【設置を計画している大学院研究科の概要】をご覧ください。アンケート調査へのご協力をお願いいたします。このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

なお、今後の状況等により、「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻修士課程（仮称）」の開設については、計画変更の生じる可能性がありますことをご理解願います。

*必須

【設置を計画している大学院研究科の概要】

ア 大学院の概要

開設年月：令和6年4月（予定）

名称：スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）

入学定員：6名

修業年限：2年（長期履修制度あり、最大4年まで）

開講形態：昼夜及び土曜開講（大学院設置基準第14条適用）

学位：修士（スポーツ健康科学）

設置場所：沖縄県名護市為又1220-1

イ 設置の理念

本大学院は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力及び専攻分野における研究能力を養うことを目的とする。

ウ 養成する人材像

本研究科においては、スポーツ・健康分野に関する学修と研究を通して、高度な専門的知識並びに指導力を身に付ける。また、自ら発見した課題を適切な手法で分析し、結論を導き出す論理的思考力を身に付け、スポーツ・健康分野で活躍できる高度専門職業人を養成する。

以下に3つの具体的な養成する人材像を掲げます。

《具体的な養成する人材像》

①子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加者に対して、データを活用したプレイヤー主体の指導を実践し、スポーツを通じた地域振興に貢献できる人材を養成する。

②沖縄をはじめとする地域住民の健康課題に対応し、活力ある地域社会づくりに貢献できる人材を養成する。

③先進的な教育カリキュラム及び授業の開発・実践・評価が出来る、高度な専門性を有する保健体育の教員を養成する。

エ 年間授業料

以下の図表1を参照してください。

（学生納付金の設定の考え方）

本学の授業料は、国立大学の標準額に準じて設定しており、沖縄県内の他の国公立大学大学院の授業料と同額である。入学金は、県内国公立大学大学院の中で最も低く設定している。

なお、「地域内」に該当する者については、入学金を「地域外」の半額に設定する。

オ 奨学金

名称：（仮称）名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科奨学金（給付型）

対象：学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難であることが認められる者

【大学院学生研究支援補助金】

本学に在学する大学院（修士課程）学生への研究支援として次のとおり研究支援の補助を行います。

1.支給対象者：修士課程に在籍する1年次及び2年次の正規学生（休学者は除く）

2.補助金額：1年次：26,000円、2年次：52,000円奨学金

カ 修了後の進路

(1) 地域のスポーツ指導者モデル

- ・地域スポーツ指導者
- ・スポーツ政策に関わる行政職
- ・競技スポーツチームのマネージメント業務
- ・競技スポーツチームにおける指導者 等
- ・総合型地域スポーツクラブにおける指導者, クラブマネージャー 等

(2) 地域の健康支援者モデル

- ・医療機関における健康指導者
- ・健康政策に関わる行政職
- ・健康増進センター等の指導者, マネージメント業務者
- ・総合型地域スポーツクラブにおける指導者, クラブマネージャー 等
- ・福祉施設等の健康運動指導員 等

(3) スポーツ教育モデル

- ・専修免許状を有する中学校保健体育教諭
- ・専修免許状を有する高等学校保健体育教諭
- ・部活動等指導員 等

図表1) 年間授業料

入学金等 大学等の名称	入学金		授業料 年間	備考
	域内	域外		
名桜大学 スポーツ健康科学研究科スポーツ 健康科学専攻 (修士課程)	125,000 ※「沖縄県北部出 身者」	250,000円	535,800	※長期履修制度の利用で最大4年 間まで2年分の学費で在籍できま す。※本学卒業生・修了生の入学金 は、「地域内」の半額となります (62,500円)。
琉球大学 琉球大学教育学研究科 (修士課程)	282,000円		535,800	

設問にお答えください。

1. 問1 あなたの学年についてお伺いします。 *

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

- 1.大学1年生
- 2.大学2年生
- 3.大学3年生
- 4.大学4年生

2. 問2 あなたは、大学院修士課程に進学したいと思いますか。*

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

- 1.スポーツ・健康分野の大学院に進学したい
- 2.スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい
- 3.進学したいとは思わない ※「問9」以降にお答えください。
質問9 にスキップします
- 4.分からない ※「問9」以降にお答えください。 質問9 にスキップします

問2で「1.スポーツ・健康分野の大学院に進学したい」「2.スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい」を選んだ方

3. 問3 あなたが、大学院で学びたい理由は何ですか。（複数回答可）*

「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

あてはまるものをすべて選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.専門的知識・技術を身につけられる
- 2.修士の学位を取得できる
- 3.専修免許（保健体育）を取得できる
- 4.競技活動を継続できる
- 5.就職の際に有利になる
- その他: _____

- 4。〔以下は、現在計画中の「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」についてお尋ねします。*

問4 あなたは 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）が開設されれば、入学したいと思いますか。

※あてはまるもの一つにチェックしてください。

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

- 1.入学したい
- 2.入学を検討したい
- 3.入学したいとは思わない ※「問9」以降にお答えください。
質問9 にスキップします
- 4.わからない ※「問9」以降にお答えください。 質問9 にスキップします

問4で「1.入学したい」「2.入学を検討したい」を選んだ方

- 5。問5 名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）に「1.入学したい」、もしくは「2.入学を検討したい」と回答した理由は何ですか。*

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。
あてはまるものをすべて選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.スポーツ指導の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 2.健康課題に対して、多角的にアプローチできる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 3.将来、学校現場の指導者、指導的役割を担いたいので
- 4.修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので
- 5.将来、教育者、研究者になりたいので
- その他: _____

6. 問6 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）の、どの分野に関心がありますか。

■地域のスポーツ指導者

スポーツ・健康に関する研究を通して、データを活用した競技者の育成や、子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象として、スポーツをとおして地域振興に貢献できる高い指導力を有する人材を養成する。

■地域の健康支援者

運動と健康に関する専門性の高い理論、現場での実践方法を修得し、多様化した地域社会における健康課題に対して多角的にアプローチできる高度な専門的知識に基づいた指導力を有する人材を養成する。

■スポーツ教育者

スポーツ・健康科学の知見に基づいて、生涯を通してスポーツに親しみ、心身の健康を保持増進することができる人を育てるために、先進的な教育カリキュラム及び授業の開発・実践ができる教育力や、その効果を科学的に評価・検証できる研究力を備えた、高度な専門性を有する保健体育の人材を養成する。

1 つだけマークしてください。

- 1.地域のスポーツ指導者
- 2.地域の健康支援者
- 3.スポーツ教育者

7. 問7 進学先を選ぶ際に重視する点（重視した点）を教えてください。*

※あてはまるもの3つまでチェックしてください。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.指導を受けたい教授・教員がいる
- 2.学びたい教育プログラムがある
- 3.奨学金が受けられる
- 4.授業料の減免制度がある
- 5.研究に重点が置かれている
- 6.働きながら学べる
- 7.施設や設備が整っている
- 8.知名度が高く、ブランド力がある
- 9.夜間・土曜日開講している
- 10.長期履修制度がある
- 11.遠隔授業が利用できる
- その他: _____

8。 問8 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）に進学した場合、その後の進路はどう考えていますか。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

1. 中学校・高等学校の保健体育教員
2. 公務員
3. 研究職（大学院博士課程への進学を含む）
4. スポーツ関連企業・健康フィットネス関連企業
5. 上記4以外の一般企業
- その他: _____

最後の質問です。

9。 問9 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

10。 問10 修士課程が開設された場合本学で学びたいという意思をお持ちの方は、連絡先を下記にご記載下さい。文部科学省の設置認可後入試情報をお送りいたします。

※メールアドレスをご記入ください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

名大企画第27号
令和元年12月6日

沖縄県教育庁保健体育課長
北部12市町村教育委員長
各県内高等学校長及び各中学校長
各専修学校長 殿
各医療機関及び各福祉・介護等機関の所属長
フィットネスクラブ等の所属長
一般財団法人健康づくり財団理事長

名桜大学人間健康学部
学部長 砂川 昌範
スポーツ健康学科長 奥本 正
(公印省略)

名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科（仮称）修士課程
設置調査に関するアンケートについて（依頼）

謹啓 師走の候、貴台におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より名桜大学の教育研究活動に関しましてご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

本学スポーツ健康学科は、平成17年度に開設し、これまで1,081名の卒業生を輩出してきました。公立大学唯一のスポーツ健康系の学科で、多面的な視点からスポーツと健康を究明する人材育成に取り組んできました。その間、地域の問題解決や地域貢献事業に積極的に取り組むことで、県内で高く評価されるようになりました。このような中で、高度な健康支援人材または、教育人材を養成するために名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科（仮称）修士課程の設置準備を始めております。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、貴施設（貴校）の職員または従業員の皆様へのアンケート調査を下記の要領で実施したく別紙の調査票を送らせていただきますのでご協力よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. アンケート実施期間：令和元年12月10日（火）～ 令和元年12月20日（金）
2. アンケート回答方法：

郵送されました別紙の「名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科（仮称）修士課程」設置調査に関するアンケートについての回答要領」と「関係機関用調査紙」の枚数分について協力可能な方々（中学・高校は、体育教諭及び養護教諭を対象）へ配布をお願いいたします。**回答方法は、① スマートフォン等を利用した回答、又は、② 調査紙に直接記入する回答、いずれかの方法を選択してください。**

① スマートフォン等によるインターネット上での回答

・詳細は、別紙の回答要領を参照してください。

② 調査紙に直接記入する回答

・別紙の調査紙に直接記入し回答した場合には、1週間程度を目処に回収し、大学へ返送（同封の返信用封筒にて郵送）くださいますようお願いいたします。

※調査紙が足りない場合はコピーし、ご回答お願いいたします。

問い合わせ先：名桜大学企画部企画課 電話 0980-51-1130 上間、大城、比嘉

名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程
(仮称) の設置に係るアンケート調査について (設置構想中) の回答要領

名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科では、令和6年4月に「大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻修士課程 (仮称)」の設置を予定しています。

このアンケートは、皆様の進学意向をお伺いし、設置構想の基礎資料とするものです。

アンケートから得られた調査結果は、設置構想の基礎資料としてのみ活用し、他の目的に使用することはありません。

つきましては、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

なお、今後の状況等により、「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程 (仮称)」の開設については、計画変更の生じる可能性がありますことをご理解願います。

記

1. 調査内容：「学生確保及び修了後の進路に関する調査」
2. 調査の回答期間：令和4年12月22日(木)から令和5年1月20日(金)
3. 問い合わせ先：総務企画部企画課 上間、大城、新城 (電話：0980-51-1130)
4. 回答方法：
 - 1) 回答は、設問により「どれか1つを選択」するもの、「複数回答可」するものがありますので、設問をよく読んで回答してください。
 - 2) アンケートの回答方法は、スマートフォン等によるインターネット上の方法で回答できません。

○スマートフォン等によるインターネット上での回答

下記のQRコードを読み取り、アンケートサイトにアクセスし、回答してください。

[アンケートはこちらから](#)



<https://forms.gle/UitzDbwVS28xVj1H9>

「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」の設置に係るアンケート調査（設置構想中） ※一般の方対象

本学では、「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」の設置を検討しています。

この大学院研究科は、沖縄をはじめとする地域社会のスポーツ・健康分野において活躍できる高度専門職業人の養成を目的としています。研究科の養成したい人材は以下の通りです。「スポーツ・健康分野に関する学修と研究を通して、高度な専門的知識並びに指導力を身に付ける。また、自ら発見した課題を適切な手法で分析し、結論を導き出す論理的思考力を身に付け、スポーツ・健康分野で活躍できる高度専門職業人を養成します。」

つきましては、【設置を計画している大学院研究科の概要】をご覧ください。アンケート調査へのご協力をお願いいたします。このアンケートの回答は、設置構想にあたっての統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。

なお、今後の状況等により、「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」の開設については、計画変更の生じる可能性がありますことをご理解願います。

*必須

【設置を計画している大学院研究科の概要】

ア 大学院の概要

開設年月：令和6年4月（予定）

名称：スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）

入学定員：6名

修業年限：2年（長期履修制度あり、最大4年まで）

開講形態：昼夜及び土曜開講（大学院設置基準第14条適用）

学位：修士（スポーツ健康科学）

設置場所：沖縄県名護市為又1220-1

イ 設置の理念

本大学院は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要の高
度の能力及び専攻分野における研究能力を養うことを目的とする。

ウ 養成する人材像

本研究科においては、スポーツ・健康分野に関する学修と研究を通して、高度な専門的知識
並びに指導力を身に付ける。また、自ら発見した課題を適切な手法で分析し、結論を導き出す
論理的思考力を身に付け、スポーツ・健康分野で活躍できる高度専門職業人を養成する。

以下に3つの具体的な養成する人材像を掲げます。

《具体的な養成する人材像》

①子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加者に対して、データを活用したプレイヤー主体の
指導を実践し、スポーツを通じた地域振興に貢献できる人材を養成する。

②沖縄をはじめとする地域住民の健康課題に対応し、活力ある地域社会づくりに貢献できる人
材を養成する。

③先進的な教育カリキュラム及び授業の開発・実践・評価が出来る、高度な専門性を有する保
健体育の教員を養成する。

エ 年間授業料

以下の図表1を参照してください。

（学生納付金の設定の考え方）

本学の授業料は、国立大学の標準額に準じて設定しており、沖縄県内の他の国公立大学大学
院の授業料と同額である。入学金は、県内国公立大学大学院の中で最も低く設定している。

なお、「地域内」に該当する者については、入学金を「地域外」の半額に設定する。

オ 奨学金

名称：（仮称）名桜大学大学院スポーツ健康科学研究科奨学金（給付型）

対象：学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難であることが認められ
る者

【大学院学生研究支援補助金】

本学に在学する大学院（修士課程）学生への研究支援として次のとおり研究支援の補助を行
います。

1.支給対象者：修士課程に在籍する1年次及び2年次の正規学生（休学者は除く）

2.補助金額：1年次：26,000円、2年次：52,000円奨学金

カ 修了後の進路

(1) 地域のスポーツ指導者モデル

- ・地域スポーツ指導者
- ・スポーツ政策に関わる行政職
- ・競技スポーツチームのマネージメント業務
- ・競技スポーツチームにおける指導者 等
- ・総合型地域スポーツクラブにおける指導者、クラブマネージャー 等

(2) 地域の健康支援者モデル

- ・医療機関における健康指導者
- ・健康政策に関わる行政職
- ・健康増進センター等の指導者、マネージメント業務者
- ・総合型地域スポーツクラブにおける指導者、クラブマネージャー 等
- ・福祉施設等の健康運動指導員 等

(3) スポーツ教育モデル

- ・専修免許状を有する中学校保健体育教諭
- ・専修免許状を有する高等学校保健体育教諭
- ・部活動等指導員 等

図表1) 年間授業料

入学金等 大学等の名称	入学金		授業料 年間	備考
	域内	域外		
名桜大学 スポーツ健康科学研究科スポーツ 健康科学専攻 (修士課程)	125,000 ※「沖縄県北部出 身者」	250,000円	535,800	※長期履修制度の利用で最大4年 間まで2年分の学費で在籍できま す。※本学卒業生・修了生の入学 金は、「地域内」の半額となります (62,500円)。
琉球大学 琉球大学教育学研究科 (修士課程)	282,000円		535,800	

設問にお答えください。

1。 問1 あなたの現在の職種を教えてください。*

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

1. 中学校・高等学校保健体育教員（臨時的採用教員を含む）
2. 保健体育教員以外
3. 教育関係従事者（教員以外）
4. 保健医療関係従事者
5. スポーツインストラクター・トレーナー
6. 福祉・介護等従事者
7. 団体職員（協会、連盟、協議会）
8. 沖縄県、各市町村教育委員会職員
- その他: _____

2。 問2 あなたは、大学院修士課程に進学したいと思いますか。*

1つだけマークしてください。

1つだけマークしてください。

1. スポーツ・健康分野の大学院に進学したい。
2. スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい
3. 進学したいとは思わない。 ※「問8」以降にお答えください。
質問8 にスキップします
4. わからない。 ※「問8」以降にお答えください。
質問8 にスキップします

問2で「1.スポーツ・健康分野の大学院に進学したい」「2.スポーツ・健康分野以外の大学院に進学したい」を選んだ方

3. 問3 あなたが、大学院で学びたい理由は何ですか。（複数回答可）*

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

あてはまるものをすべて選択してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.専門的知識・技術を身につけられる
- 2.修士の学位を取得できる
- 3.専修免許（保健体育）を取得できる
- 4.競技活動を継続できる
- 5.就職の際に有利になる
- その他: _____

4. 〔以下は、現在計画中の「名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）」についてお尋ねします。〕*

問4 あなたは 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）が開設されれば、入学したいと思いますか。

※あてはまるもの一つにチェックしてください。

1つだけマークしてください。

- 1.入学したい
- 2.入学を検討したい
- 3.入学したいとは思わない ※「問8」以降にお答えください。
質問8 にスキップします
- 4.わからない ※「問8」以降にお答えください。 質問8 にスキップします

問4で「1.入学したい」「2.入学を検討したい」を選んだ方

- 5。 問5 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課 *
程（仮称）に「1.入学したい」、もしくは「2.入学を検討したい」と回答した理由は何ですか。

※あてはまるものすべてにチェックしてください。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.スポーツ指導の現場で活かせる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 2.健康課題に対して、多角的にアプローチできる高度な専門知識の修得と研究力を高めたいので
- 3.将来、学校現場の指導者、指導的役割を担いたいので
- 4.修士の学位を取得し、キャリアアップを図りたいので
- 5.将来、教育者、研究者になりたいので
- その他: _____

6。 問6 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）の、どの分野に関心がありますか。 *

■地域のスポーツ指導者

スポーツ・健康に関する研究を通して、データを活用した競技者の育成や、子供から高齢者まで幅広い年齢層を対象として、スポーツをとおして地域振興に貢献できる高い指導力を有する人材を養成する。

■地域の健康支援者

運動と健康に関する専門性の高い理論、現場での実践方法を修得し、多様化した地域社会における健康課題に対して多角的にアプローチできる高度な専門的知識に基づいた指導力を有する人材を養成する。

■スポーツ教育者

スポーツ・健康科学の知見に基づいて、生涯を通してスポーツに親しみ、心身の健康を保持増進することができる人を育てるために、先進的な教育カリキュラム及び授業の開発・実践ができる教育力や、その効果を科学的に評価・検証できる研究力を備えた、高度な専門性を有する保健体育の人材を養成する。

1 つだけマークしてください。

- 1.地域のスポーツ指導者
- 2.地域の健康支援者
- 3.スポーツ教育者

7. 問7 進学先を選ぶ際に重視する点（重視した点）を教えてください。*

※あてはまるもの3つまでチェックしてください。

※「その他」を選択した場合は、具体的に記載してください。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 1.指導を受けたい教員がいる
- 2.学びたい教育プログラムがある
- 3.奨学金が受けられる
- 4.授業料の減免制度がある
- 5.研究に重点が置かれている
- 6.働きながら学べる
- 7.施設や設備が整っている
- 8.知名度が高く、ブランド力がある
- 9.夜間・土曜日開講している
- 10.長期履修制度がある
- 11.遠隔授業が利用できる
- その他: _____

最後の質問です。

8. 問8 名桜大学大学院 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 修士課程（仮称）について、ご意見・ご要望等がありましたら、自由に記入してください。

9. 問9 修士課程が開設された場合本学で学びたいという意思をお持ちの方は、連絡先を下記にご記載下さい。文部科学省の設置認可後入試情報をお送りいたします。

※メールアドレスをご記入ください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム